

# 新入生のみなさんへ

京都大学 総長 山 極 壽 一



京都大学へのご入学を心から歓迎します。

小学校、中学校、高等学校という教科書に基づいた学びの日々を終え、これから皆さんは新しい学問の都へ入ります。それはまだ答えのない世界、答えが複数ある世界、答えの前にその問いを見つけなければならない世界です。学ぶときにその道筋を示す教科書があり、常に模範解答が得られるわけではないのです。新しく湧き起った課題に自分なりの答えを出し、これまでの常識を超えてそれを証明していかなければならないし、何よりその常識を疑って新しい問いを立てていかねばなりません。そんな世界を前にして、皆さんは不安と期待の入り混じった複雑な思いを胸に秘めているのではないのでしょうか。でも心配は無用です。京都大学はこれから皆さんにこの世界の魅力をたっぷりと伝え、学問の面白さを満喫してもらう準備を整えています。

京都大学は、対話を根幹とした自由の学風を尊び、独創の精神を涵養する学問の都です。ここで皆さんは、世界や社会を吹き抜ける荒々しい風から少し自由になり、まずはじっくりと腰を据えて世界の学問と対峙するのです。京都大学には10の学部、18の大学院、日本最多を誇る14の研究所と17の研究センターがあります。ここには、世界最先端の研究を行っている研究者が顔を連ね、皆さんと初年次から対話をしようと待ち構えています。これらの教員が一致協力し全学体制で作られているのが国際高等教育院。ここで皆さんは学部や分野の枠を超えて、全学共通教育として教養や基礎の学問を学ぶのです。京都大学は総合大学です。多くの学問の雄が集い、それぞれの分野で質の高い議論を繰り広げるばかりでなく、多様な分野の研究者や学生が集まって学際的で創造的な意見を述べ合う場所でもあります。皆さんも自分が選んだ学問分野ばかりでなく、他の分野にも目を向けて討論に参加し、多くの友達を作ってください。大学時代に得た友は生涯にわたって皆さんの人生を支え、助言を与えてくれる大切な財産になるはずです。

私は、大学とは「世界や社会の窓」と考えています。時代は刻々と変わっていきます。世界の動きは急です。突然、戦争やクーデターが起こって新しい国が勃興したり、エボラ出血熱などの感染症が大流行して多くの死者が出たり、リーマンショックなどの大規模経済危機が訪れて続々と会社が倒産したりします。地球規模の気候変動があり、地震や洪水が後を絶ちません。2011年に起こった東日本大震災は大きな傷跡を残し、現在も復興の努力は懸命に続けられています。これまで想定していなかったような突然の出来事によって、世界や社会は大きな影響を受けて変わっていきます。皆さんもいずれ窓を開けて社会人となり、こうした動きに正面から向き合うことになるはずです。今はそのために必要な知識や知恵を学ぶときです。大学の教職員はその窓の外と内をつなぐ道先案内人であり、皆さんの背中をそっと押して活躍でき

る世界へと送り出してくれると思います。

「窓」にちなんで、私はWINDOWという標語を作りました。学生も教職員もこの標語を基にして京都大学を前に進めようという合言葉です。WはWild and Wise（野生的で賢く）、IはInternational and Innovative（国際的で革新的）、NはNatural and Noble（自然で高潔な）、DはDiverse and Dynamic（多様で活動的な）、OはOriginal and Optimistic（独創的で楽観的な）、最後のWはWomen and Wish（女性と希望）です。皆さんもぜひ、これらの標語を心に留め、誇りをもって学生生活を謳歌してください。

最近の日本は内向きであると言われ、とくに学生にその傾向が強いと指摘されています。それはIT時代の到来によって、直接顔を合わせて対話をしたり、日本を出て新しいことに挑戦したりすることが減ったからだだと思います。今や知識は人から人へ伝達されるものではなく、インターネットを通じて得られるものだということが常識になりつつあります。大学もそれに応じて、知識を得るところから、知識を利用して独創的な考え、最先端の考えを学ぶ場所へと変わりつつあります。京都大学は対話を通じてそれを学ぶ場所です。ポケットゼミなどの他分野にわたる少人数ゼミ、多様なフィールドワークや実験などの実践を通じて、技術や経験を学ぶ機会を初年次から用意しています。ぜひ皆さんも、たくましい、そして賢い判断のできる人間に育ってほしいと思います。

現代は人も物資も国境を越えて急速に移動していく時代です。日本にいても、こうした動きに無関心ではられません。グローバルな動きに適切に対処するためには国際性を身につけねばなりません。英語をはじめとした国際語や世界の歴史を習得することが不可欠ですが、日本の文化を深く理解し、それを国際的な舞台で利用することも重要です。京都大学はそのための多様な選択肢を用意しています。交換留学制度を利用して異国の文化や学問を直接身に着けるのもいい方法だと思います。イノベーションは多様な知識と経験、そして柔軟な思考から生まれます。ぜひそのために必要となる能力を積んでください。

京都学派と言われる西田哲学や今西霊長類学は自然との対話から生まれました。京都大学のそばには吉田山、少し歩けば哲学の道や鴨川があり、多くの寺社仏閣が思索の場を提供してくれます。そこには人の寿命を超え、人知を超えた数々の知恵が隠されています。そこにこそ、ブレイクスルーにつながる新しい発見があるのです。人間も人間の社会も自然から、自然を題材にして生まれてきました。ぜひ自然に学び、品格のある思索の道を歩んでいただきたいと思っています。

独創性は、京都大学の誇る学問の精神です。しかし、独創的な考えは他者を排除したところから生まれるのではなく、他者の思想や思考方法を学ぶところから始まります。分野を超えた対話や自然との出会いから独自の発見や思考が生まれることもあります。そして、そういった独創的な考えはなかなか認められないことが多いのです。そのために悩むことも多いでしょう。また、大学生は成人して社会に責任と義務を負う年齢でもあります。自立した個人として、これまでとは違った目で社会から期待され、評価されることになります。甘えや間違いが厳しく正され、場合によっては重い罰が科されることもあります。そういった事態にならないように、悩みや迷いが生じたら、学生総合支援センターや各学部の学生相談室を利用してください。

京都大学は、常に皆さん学生諸君にとって開かれた場所であることを忘れないでください。大学には皆さんが利用できる魅力的な施設や設備がたくさんあります。それを知り、活用することが皆さんの学びに大いに役立つはずです。ぜひ、有意義な学生生活を送り、自分に合った道を見つけて世界に羽ばたいていただけるよう、総長として期待しているところです。